



## 心を合わせてひたする祈る 一期一会の礼拝の心得

戦国時代のクリスチヤン大名、高山右近(1552-1615)は、父・高山飛騨守ダリヨの勧めにしたがって12歳で洗礼を受け、とびきり純粋な信仰をもってその生涯を貫いた人物です(日曜学校の働きは大切ですね)。キリストを信じるがゆえに城を追われ、大名の地位も捨て、最後は徳川家康の命により国外追放、異国の方で生涯を閉じました。彼は「侘び茶」を確立した千利休の七人の高弟(利休七哲)のひとりで、当時の宣教師ジョアン・ロドーリゲスは『日本教会史』の中で、「彼はこの芸道(茶の湯)で日本における第一人者である」と書き、彼にとっては「茶室」が神様にすがるために落ち着いて隠遁することができた場所であったことも明かしています。つまり、茶室が高山右近の礼拝の場であり、祈りと黙想の聖なる所だったのです。

イエス様は天に戻られる際に、使徒行伝1章の最初で、「エルサレムを離れないで」「父の約束を待ちなさい」と語されました。弟子たちは、エルサレムの、最後の晩餐(聖餐式と茶道との関係も深い!)もなされたであろう、いつも共に集まっていた「二階座敷(アパ・ルーム)」で祈りました。それは、決められた場所に留まることで、心がふらふらしたり、集中を欠いたりせずに、熱心で祈れたからです。私たちも、右近が「茶室」を祈りの場にしたように、時間と場所を定めて、この「聖靈待望の祈り」を捧げることができたら力になります!

また茶室は、「一期一会」の侘び茶の交わりとして知られています。一期一会とは、「生涯ただ一度まみえること、一生に一度限り」のことで、茶事においては、亭主と客の出逢いは、誠実な信頼関係における交わりであり、明日戦場に赴こうとする者と、「最後の晩餐」になるかもしれない危機的な状態の中で成り立っていた。それも右近にとって、神を礼拝する「一期一会」の精神であったと解説されています。(茶の湯の心で聖書を読めば/高橋敏夫)



クリスチヤン大名  
高山ジュスト右近

今日2022年5月29日の礼拝は、歴史上二度ない、まったく同じ出席者で集まることも二度となりであろう礼拝です。ですから「毎週の礼拝」というよりも、「一期一会の礼拝」という心で、お互いを慈しみ、神様を求めることができたら幸いです。あなたとご一緒できて感謝します。心を込めてお仕えします。牧師 倉知契

2022.5.29(SUN) プログラム

ゴスペルタイム ピアノ: 大野エステルさん  
黙祷・祈り 司会: 宮之原弘さん

賛美 新聖歌222「愛なり 愛なり」  
注ぎたまえ主よ/ハallelujah

3つの愛  
聖書朗読 使徒行伝1章12~14節  
(新約聖書P.180) 朗読: 平松友子さん

特別賛美 最強ヘルパー・シリーズ⑤  
聖書のお話: Help 助けてください!  
牧師 倉知契

献金と賛美 神様 感謝します  
献金係: 神林玲菜さん・宮之原賢晶さん

頌栄  
祝祷 主はいま生きておられる

## 【チャペル・ニュース】

- ◆皆様を心から歓迎します。初めての方や久しぶりの方も、どうぞリラックスして、恵まれた時をお過ごしください。
- ◆今日は礼拝のあと、毎週お借りしている「子どもクリニックの駐車場」の草刈りをします。お時間のある方は少しでもお助けいただけると感謝です。その後、お交わりとコーヒータイムします。教会に残って、お祈りしたり、お掃除くださる方も感謝です。
- ◆今週のSeto Life Art Studio  
火曜モンテッソーリ教室。木曜祈祷会は10時半～12時。  
来週は聖餐式の日曜日、ジョイキッズは11時の礼拝に合流です！
- ◆聖書通読は、エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記。旧約聖書における大事な歴史書です。一日4章ほどのペースでお読みください！
- ◆長引くウクライナの戦争が早く終結しますように、今日は特に心を込めてお祈りいたしましょう。難民の方々、ウクライナの教会のためにも！



瀬戸カルバリーチャペル × Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

担当牧師:倉知契 kei.kurachi@gmail.com

日曜礼拝 朝 11 時//木曜祈祷会 朝 10 時半//ジョイキッズ 日曜朝 9 時半

礼拝(ミサ)を YouTube からご覧いただけます。



2022.5.29  
日曜礼拝

瀬戸カルバリーチャペル  
Seto Life Art Studio